

# なかこくだより

学校教育目標 にこにこ ハピネス 中国分小

～子どもと地域のウェルビーイングを目指して～



なかこくブログ

学校だより 第12号  
令和6年2月1日  
市川市立中国分小学校  
校長 木村 裕児

## 貴重なご意見ありがとうございました。

保護者アンケートへの回答ありがとうございました。自由記述にいただいたご意見への回答をまとめましたのでご一読下さい。

尚、ご質問のあった中で学校にて対応できないものについては、ここでの回答はしておりません。ご了承ください。



○ 体調不良で病院に行くと「まわりで何か流行っていますか？」と聞かれるので、できたら他の学年でも学級閉鎖が起きているのならばお知らせしてしてもらいたいです。

これからも学級閉鎖の情報は、情報提供としてすべての保護者にメールにて発信する等、感染対策の観点から必要な情報をメールやお便り等で適宜お伝えします。

○ 先日、子どもが体調不良で休んだ際、ICT機器の故障でオンラインでの授業が受けられませんでした。ICT機器を活用する方針なのであれば、サポートを充実させる必要があると思います。

おっしゃるとおりです。学校ではICT支援員のサポートを受け、ICT機器の活用を進めていますが、まだまだ十分ではありません。子どもたちの質の高い学びに資するよう市の教育センターと連携しながらタブレットをはじめICT機器の活用を図っていきます。

○ 堀之内の信号機設置の件、どのような状況でしょうか？また周辺環境が気になります。（見通しの悪さや街灯の不足等）

通学路の安全確保について市川市教育委員会に要望をあげているのはお伝えしたところです。進捗状況のお知らせについては関係機関で調整中であり、広くお知らせすることが可能な状況になりましたらみなさまにお知らせします。

○ 絵具のパレットや筆、習字の硯や筆を学校で洗うことは難しいのでしょうか？洗わないで持ち帰ると、子どもが疲れている時は親が洗うことになり自主性が育つとはあまり感じない気がします。

45分の限られた授業時間の中で子どもたちが制作する時間を多く確保するために現状、後片付けは、帰宅してから個々で行っていただくことをお願いしています。準備から後片付けまで子どもが行うのが理想ではありますが、しかし制作時間の確保のために家庭にはご負担をかけることになってしまいますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

- 先生の言葉遣いが気になります。また学校教育目標の「にこにこハピネス中国分小」を子どもは知りません。

教員の言葉遣いについては前回もご指摘をいただいております改善を図っているところです。まだまだ不十分だと認識しております。これからも都度ご指摘ください。

学校教育目標については笑顔の大切さを子どもたちに分かるように話しております。これからも子どもたちに浸透していくように繰り返し話をしていきます。

- 宿題の出し方に課題があり子どもが家庭で効果的な学習をすることができていません。宿題のやり方を子どもに丁寧に説明したり学校でも宿題の提出をこまめにチェックしたりすることが必要だと思います。

宿題のやり方を子どもに丁寧に説明することに加え、宿題での頑張りを認め、次の学習につなげていくことが大切です。宿題の出し方には工夫が必要であると考えています。お子さんの学習意欲を高める方法については保護者の方とご相談させていただきます。

- 給食の量ですが、適切な量が提供されているか不安です。

子どもの健全な成長、活動に必要な栄養、カロリーを考え、適切な給食を提供しています。

これは給食の量のことではありませんが、地産地消の食材を給食に使用したり、日本の伝統的な行事にちなんだ献立を工夫したりしています。また絵本の中に登場する献立を給食に再現する、先生お勧めの給食を提供する等、子どもたちが楽しみながら食に親しむことができるよう給食の質を高めています。

自由記述には、学校の教育活動についての励ましやお褒めの言葉もいただいております。これらお褒めの言葉を力にするとともに、ご意見ご指摘を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に生かしてまいります。

